

コントロールメニュー画面操作早わかり

本機ではさまざまな機能を画面上のリモコンである「コントロールメニュー」を使って操作します。コントロールメニューは、リモコンの画面表示ボタンを押すとテレビ画面に表示されます。
使いたい機能の項目を↑/↓で選び、決定ボタンを押すことで項目や設定を選びます。
 いくつかの項目はリモコンや本体のボタンでも表示や操作ができます。

コントロールメニューについて詳しくは、26～49ページをご覧ください。なお、コントロールメニューで選べる項目は再生するディスクによって異なります。ここでは、一般的なDVDのディスクを例に説明します。かつこのページは取扱説明書で説明しているページです。詳しくは、取扱説明書をご覧ください。



画面表示ボタンを押す：コントロールメニュー画面1

- | | |
|----------------------------|--|
| TITLE | 再生するタイトルを選びます。(29ページ) 数字ボタンで入力して 決定 を押す。 |
| CHAPTER | 再生するチャプターを選びます。(29ページ) 数字ボタンで入力して 決定 を押す。 |
| TIME/MEMO | 残り時間を調べたり、テキスト情報を見ます。(30～32ページ) ↑↓で選び 決定 を押す。
時間/テキストボタン |
| AUDIO | 音声を切り換えます。(34ページ) ↑↓で選び 決定 を押す。
音声ボタン |
| SUBTITLE | 字幕の言語を切り換えます。(35ページ) ↑↓で選び 決定 を押す。
字幕ボタン |
| ANGLE | アングルを切り換えます。(36ページ) ↑↓で選び 決定 を押す。
アングルボタン |
| VIRTUAL 3D SURROUND | サラウンドの機能を選びます。(37ページ) ↑↓で選び 決定 を押す。
VIRTUAL 3D SURROUNDボタン |
| PROGRAM | 再生する順序を設定します。(39ページ) ↑↓で設定して 決定 を押す。
プログラムボタン PROGRAMボタン |
| SHUFFLE | 再生する順序をランダム(無作為)にします。(41ページ) ↑↓で選び 決定 を押す。
シャッフルボタン SHUFFLEボタン |
| REPEAT | 繰り返し再生します。(42ページ) ↑↓で選び 決定 を押す。
くり返しボタン REPEATボタン |
| A-B REPEAT | 指定した部分を繰り返し再生します。(43ページ) ↑↓で選び 決定 を押す。 |
| ADVANCED | 再生中のディスクの情報(グラフィックで表示)を見ます。(44ページ) ↑↓で選び 決定 を押す。 |

画面表示ボタンをもう1回押す：コントロールメニュー画面2
(上の3項目以外が他の項目にかわります)

- | | |
|------------------------|--|
| DNR | 映像のざらつきをおさえます。(45ページ) ↑↓で選び 決定 を押す。 |
| VIDEO EQ | 画質を設定します。(46ページ) ↑↓で項目を選び、←→で調整し 決定 を押す。 |
| ANGLE VIEWER | 複数のアングルをまとめて見ます。(47ページ) ←↑↓→で選び 決定 を押す。 |
| STROBE PLAYBACK | 連続した9つの画面を表示します。(48ページ) ←↑↓→で選び 決定 を押す。 |
| TITLE VIEWER | ディスクのタイトルをまとめて見ます。(48ページ) ←↑↓→で選び 決定 を押す。 |
| CHAPTER VIEWER | ディスクのチャプターをまとめて見ます。(48ページ) ←↑↓→で選び 決定 を押す。 |
| BOOKMARK | 登録したブックマークをまとめて検索できます。(49ページ) ←↑↓→で選び 決定 を押す。 |

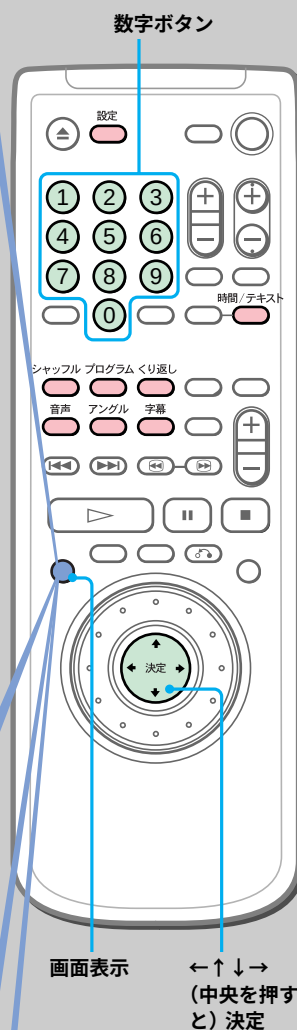


画面表示ボタンをもう1回押す：ADVANCED画面

- | | |
|-----------------|--|
| ADVANCED | の内容を単独で表示する画面です。再生中のディスクのビットレートやビットレートヒストリー、再生中のおおよその位置についての情報を表示します。映画などの画面を見ながら情報を表示させるのに便利です。 |
|-----------------|--|



画面表示ボタンをもう1回押す：コントロールメニュー画面が消える



この記号がついている項目はリモコンのボタンを使って項目を表示できます。



この記号がついている項目は本体のボタンを使って項目を表示できます。

映画館のような臨場感をたのしむために (デジタルシネマサウンド)

DVDのソフトには劇場で使用されているのと同じ音場効果が楽しめるドルビー*デジタル5.1CH方式で収録されたソフトが多くあります。本機にはドルビーデジタルデコーダーが内蔵されており、さらにソニー独自のデジタルシネマサウンド機能を搭載しています。お手持ちの機器と接続し、下記の設定をすることにより、劇場のような臨場感をご家庭でお楽しみいただけます。

テレビのステレオスピーカーや2チャンネルのオーディオシステムから音を出す場合

テレビと直接つないでいたり、アンプからフロントスピーカーのみをつないでいるときでも、バーチャルエンハンストサラウンド (VES) の機能で、3D立体音像処理することにより仮想のスピーカーによるサラウンドを楽しむことができます。

• 音声の接続

本機の**AUDIO OUT端子**とテレビまたはアンプの**音声入力端子**をつなぐ

詳しくは、取扱説明書の「設置と準備」(11、14ページ)をご覧ください。

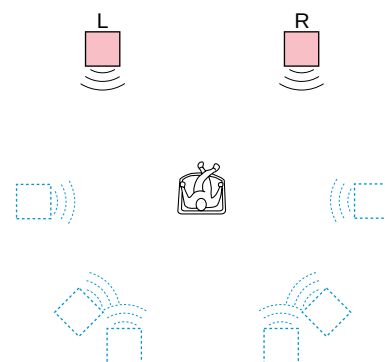
• スピーカーの設定

アンプと接続する場合、お手持ちのスピーカーに合わせて、**スピーカーの大きさや距離、バランスなどを設定してください。**リモコンの**設定ボタン**を押し、**スピーカー設定画面**で設定します。詳しくは、取扱説明書の「スピーカーの設定をする」(61ページ)をご覧ください。

• サラウンドの選択

コントロールメニューで「**VIRTUAL 3D SURROUND**」を選び(または本体の**VIRTUAL 3D SURROUNDボタン**を押し)、「**VES A**」または「**VES B**」を選びます。詳しくは、取扱説明書の「デジタルシネマサウンドの設定をする」(37ページ)をご覧ください。

• サラウンドの効果例： VES Aの場合



5.1ch入力対応アンプを使用し、リアスピーカーからも音を出す場合

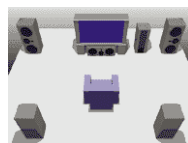
VIRTUAL 3D SURROUNDの機能により、実際のリアスピーカーの位置とは違った位置にあるような効果を出したり (VIRTUAL REAR SHIFT)、仮想スピーカーを増やし、複数のスピーカーにつつまれるような効果を出したり (VIRTUAL MULTI REAR) することができます。

• 音声の接続

本機の**5.1CH OUTPUT端子**と5.1ch入力対応アンプの**5.1ch入力端子**をつなぐ

• スピーカーの設定

お手持ちのスピーカーに合わせて、**個々のスピーカーの大きさや距離、レベルやバランスなどを設定してください。**リモコンの**設定ボタン**を押し、**スピーカー設定画面**で設定します。詳しくは、取扱説明書の「スピーカーの設定をする」(61ページ)をご覧ください。

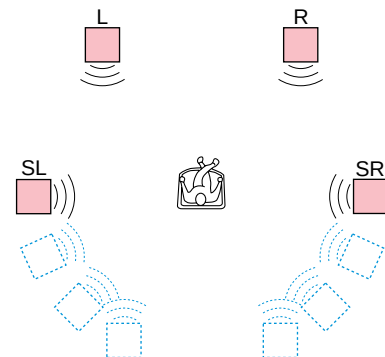


スピーカー設定画面

• サラウンドの選択

コントロールメニューで「**VIRTUAL 3D SURROUND**」を選び(または本体の**VIRTUAL 3D SURROUNDボタン**を押し)、「**VIRTUAL REAR SHIFT**」または「**VIRTUAL MULTI REAR**」を選びます。詳しくは、取扱説明書の「デジタルシネマサウンドの設定をする」(37ページ)をご覧ください。

• サラウンドの効果例： VIRTUAL MULTI REARの場合



ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器と接続する場合は、接続については取扱説明書の15ページ、設定については取扱説明書の60ページをご覧ください。

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「Dolby」、「Pro Logic」、「AC-3」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。